

令和3年2月議会

総務財政委員会報告資料

目 次

- | | |
|--|------|
| 1. 第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会
第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2022九州大会について | … 1頁 |
|--|------|

市 民 局

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会

第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2022九州大会について

1 大会方針

(1) 大会コンセプト

「WATER MEETS THE FUTURE」

(2) 行動指針

大会コンセプトの実現のため5つの行動指針を策定

- ① アスリートファーストの競技環境の追求
- ② テクノロジーによる新たなスタンダードの創出
- ③ 福岡大会ならではの魅力の発信
- ④ クオリティオブライフの向上への貢献
- ⑤ 多様な力と主体性の尊重

2 大会概要

(1) 第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会

○会 期 : 2022年5月13日(金) ~ 5月29日(日) 17日間

○種 別 : 6種別76種目

(競泳、飛込、ハイダイビング、水球、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング)

○参加人数 : 約190カ国・地域、約2,400人(見込み)

○会 場 : 【ウォーターフロントエリア】

- ・マリンメッセ福岡A館 : 競泳, アーティスティックスイミング
- ・福岡国際センター : 飛込
- ・マリンメッセ福岡B館 : 水球

【シーサイドももちエリア】

- ・オープンウォータースイミング、ハイダイビング



※世界水泳選手権会場配置



※マリンメッセ福岡A館(会場イメージ)

(2) 第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2022九州大会

福岡市、熊本市、鹿児島市の3都市開催

○会期：2022年5月31日(火)～6月9日(木) 10日間

○種別：5種別63種目

(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、
オープンウォータースイミング)

○参加人数：約100カ国・地域、約10,000人(見込み)

○会場：**【福岡市】**

- ・マリンメッセ福岡A館、総合西市民プール：競泳
- ・福岡国際センター：飛込
- ・シーサイドももち海浜公園：オープンウォータースイミング

【熊本市】

- ・熊本市総合屋内プール：水球

【鹿児島市】

- ・鹿児島市鴨池公園水泳プール：アーティスティックスイミング



※世界マスターズ水泳選手権開催都市

3 大会開催の効果(見込み)

○来場者数：約40～50万人

○テレビ視聴：全世界で約40億人

○事前キャンプ地：全国で18カ所以上(東京2020ホストタウンへのヒアリング)

○経済波及効果：約900億円(うち市内約490億円)

※世界中に「FUKUOKA」が大きくPRされ、都市ブランド力向上の面で大きな効果がある。

※各地で開催される事前キャンプにより、全国的に大きな経済波及効果が見込まれる。

※宿泊・輸送に係る消費など、アフターコロナの状況における福岡市内への直接的な経済効果も見込まれる。

4 これまでの取組み

令和2年5月4日 東京オリンピック延期に伴う日程変更発表

7月17日 経済財政運営と改革の基本方針2020
(骨太の方針2020) 閣議決定

世界水泳が国の方針に位置付け
(本市事業として初)

12月4日 世界水泳に対する国の協力について
閣議了解

単一競技では全国初

12月11日 『テクノロジーを活用したアイデア』のサウンディング調査開始
『大会関連プロジェクト』の募集開始

5 大会予算

事業費は180～190億円の見込み。

○大会予算内訳（見込み）

- ・会場整備費：80～90億円
- ・運営費：50億円程度
- ・宿泊・輸送費等：50億円程度

※収入について

協賛・寄付等35～40億円、公的助成50～60億円の確保を目指し、
市負担を90～95億円（大会予算の半分程度）と想定。

6 今後の取り組み

○合理的・効率的な施設整備・大会運営を目指した**各種計画の策定、開催準備**及び
その実現に向けた**国際水泳連盟との協議、調整**

○地方創生プロジェクトとしての**企業版ふるさと納税の活用**や世界水泳を実証フィールド
として活用した**企業協賛の獲得**

7 今後のスケジュール

令和3年5月13日 大会1年前イベント

5月29～30日 マラソンスイミング東京オリンピック最終選考会

7月 チケット販売・マスターズエントリー開始

ボランティア募集開始